

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：中曽根地区公共下水道管渠布設工事）整備事業					
補助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士吉田市中曽根地区 赤坂線・東原1号支線					
補助事業の成果の目標	下水道工事を行う場所は、流域関連公共下水道の事業計画区域であり、当交付金を充当し下水道処理可能区域を拡大することにより、処理可能件数を増やし下水道の普及促進を図ることができる。これにより、個人浄化槽から水路等への排水を抑制し、住環境の改善や公衆衛生の向上及び公共水域の水質保全を目標とする。					
補助事業の内容	VU管Φ200mm 工事延長L=142.1m					
補助事業の始期及び終期	平成29年7月から29年11月まで					
事業費及び交付金額		29年度				計
		円				円
	事業費	18,824,400				18,824,400
	交付金額	11,000,000				11,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>当事業により8件の下水道処理が可能となった。 また、下水道接続に伴い水路等への排水を抑制することができたため、住環境の改善や公共水域の水質保全を図れた。</p> <p>工事前の回覧板や工事中の立て看板に防衛省の交付金事業である旨を記載し、地域住民への周知を徹底し、工事後には広報誌へ供用開始地区の掲載や個別の通知等で下水道接続を周知するなど普及促進に努めた。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	下水道計画により、国庫補助事業と調整しながら整備をしていく。					
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共施設（環境衛生施設：西吉田配水区配水管工事） 整備事業（西原7号線）						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市新西原地内						
補助事業の成果の目標	今回、配水管工事を行う区間の水道管は昭和40年代に布設され、老朽化が著しい状況である。そのため既設の水道管は、地震等の災害時における被害を受けやすく、維持管理にも支障をきたす状況となっている。このため新たに耐震管であるGX形ダクタイル鋳鉄管を埋設し地域住民への水道水供給の安定化を行い、災害に強い安全で安心な水道水の安定供給を図る。						
補助事業の内容	配水管工事 DIP φ100mm～φ200mm L=295.5m						
補助事業の始期及び終期	平成29年7月から平成29年11月まで						
事業費及び交付金額		29年度					計
		円					円
	事業費	22,135,680					22,135,680
	交付金額	16,000,000					16,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	老朽化している既設配管を新規の耐震管に布設替えしたことにより耐震化が進捗し、沿線住民に対しより安心安全な水の供給ができ給水サービスの向上を図ることができた。 今回整備したエリアで15件の給水管付替工事を行ったことで、有事の際の給水停止などの被害エリア縮小を見込めることができた。 立て看板の設置によって交付金事業であることを周知した。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連特定事業（医療に関する事業：生活習慣病（がん検診事業））						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士北麓総合医療センター、環境美化センター						
補助事業の成果の目標	本事業の実施により、地域住民の生活習慣病（がん疾患等）への対策が行われ、疾病等の早期発見により住民の健康増進を図る。						
補助事業の内容	がん対策基本法に基づく各種がん検診委託						
補助事業の始期及び終期	平成29年6月から平成30年2月まで						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	30,023,093	円				円
	交付金額	23,500,000					23,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>天候不良に伴い当初の日程のうち4日間が中止になったため例年より受診率は下回ったものの、受診しやすくするため乳がん検診時に託児サービスを実施するなど環境整備を行った結果、例年に近い市民が検診に参加した。</p> <p>個別の通知文や市広報誌、リーフレット、ポスターなどに特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して実施している旨を記載するなど周知を実施した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	次年度も引き続き広報誌やリーフレット等を配布するなど粘り強く周知を行い受診率向上を図る。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：上吉田地区公共下水道管渠布設工事）整備事業					
補助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士吉田市上吉田地区 昭和通り線					
補助事業の成果の目標	下水道工事を行う場所は、流域関連公共下水道の事業計画区域であり、当交付金を充当し下水道処理可能区域を拡大することにより、処理可能件数を増やし下水道の普及促進を図ることができる。これにより、個人浄化槽から水路等への排水を抑制し、住環境の改善や公衆衛生の向上及び公共水域の水質保全を目標とする。					
補助事業の内容	VU管Φ200mm 工事延長L=88.0m					
補助事業の始期及び終期	平成29年7月から平成29年12月まで					
事業費及び交付金額		29年度				計
	事業費	11,421,000	円			11,421,000
	交付金額	9,000,000				9,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>当事業により4件の下水道処理が可能になった。 また、下水道接続に伴い水路等への排水を抑制することができたため、住環境の改善や公共水域の水質保全を図れた。</p> <p>工事前の回覧板や工事中の立て看板に防衛省の交付金事業である旨を記載し、地域住民への周知を徹底し、工事後には広報誌へ供用開始地区の掲載や個別の通知等で下水道接続を周知するなど普及促進に努めた。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	下水道計画により、国庫補助事業と調整しながら整備をしていく。					
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（交通施設：川久保5号線）整備事業						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市上吉田地内						
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、幅員が狭く急勾配であり、車両で通行する際に大変危険な状況であります。特に冬季につきましては、路面の積雪・凍結により、隣接する道路に容易に出入りすることができません。</p> <p>当路線の拡幅整備により、地域住民の安全性、利便性の向上を目的とし、より良い地域の生活環境を確保するものであります。</p>						
補助事業の内容	道路改良舗装 L=83.4m						
補助事業の始期及び終期	平成29年7月から平成30年3月まで						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	円 23,469,480					円 23,469,480
	交付金額	19,500,000					19,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>沿線住民への聞き取り調査を実施した結果、地域の安全性、利便性が向上したという意見があがった。本事業を実施したことで道路交通の充実が図れ快適な市民生活を確保することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事中の立て看板に交付金事業である旨を記載 ・ 市のHPに掲載 ・ 市の広報誌に掲載 ・ 回覧板にて工事情報を周知 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も住民に事業の内容を周知し、快適な市民生活を確保するために実施していきたい。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：学校給食センター運営事業）						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市小明見三丁目6番1号						
補助事業の成果の目標	<p>教育文化施設である富士吉田市学校給食センターでは、市内保育園6園、小学校7校及び中学校4校を対象として給食を提供している。</p> <p>アレルギー調理室を備えた学校給食センターを平成28年12月1日に新規稼動することに伴い、調理衛生管理等に通じた民間業者に委託することにより、栄養士の管理業務が軽減され、栄養士が直接、学校を訪問し、「食に関する指導」を行う機会が増えた。</p> <p>「食に関する指導」をより多く行うことで、知識と食を選択する力を児童、生徒に習得させることが可能となり、健全な食生活を実践することができる人間を育てることに繋がる。</p> <p>また、食物アレルギーの児童・生徒の保護者及び学校教諭と個人面談を行うことも可能となり、結果的に食物アレルギー除去食も含めた対応が実施できる。</p>						
補助事業の内容	人件費、光熱水費 一式						
補助事業の始期及び終期	平成29年7月から平成30年3月まで						
事業費及び交付金額		29年度					計
		円					円
	事業費	71,088,920					71,088,920
	交付金額	58,863,000					58,863,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>○H29年7月～H30年3月調理食数 小学校(7校)：354,910食 中学校(4校)：198,002食 保育園(6園)：97,611食</p> <p>○アレルギー対応実績 詳細な献立表による対応・・・(保育園11人・小学校22人・中学校14人) 除去食対応・・・(小学校13人・中学校1人)</p> <p>・富士吉田市教育委員会ホームページに防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当して本事業を運営していることを載せている。 ・毎月、給食だよりと一緒に配布している献立予定表(約3,400枚)に、防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当して本事業を運営していることを載せており、児童、生徒を通して保護者等に周知している。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	他の「食育」関連事業との連携を検討するなどして、本事業の成果をより確実なものにしていく。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（医療施設：医療機器）整備事業					
補助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士吉田市立病院					
補助事業の成果の目標	最新の医療機器の整備及び老朽化・劣化した医療機器を更新することで市民に対しより安全で質の高い医療を提供し、先進かつ安定した地域医療の充実を図る。					
補助事業の内容	白内障硝子体手術装置 一式 透析用監視装置 一式					
補助事業の始期及び終期	平成29年7月から平成29年10月まで					
事業費及び交付金額		29年度				計
		円				円
	事業費	31,050,000				31,050,000
	交付金額	24,000,000				24,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>医療機器を更新したことにより、年間の故障回数が0回と減少したため、故障等の発生リスクが排除された。</p> <p>また、最新鋭の医療機器が整備されたことにより、地域住民へ安定した質の高い医療の提供を行うことができた。</p> <p>整備状況について、平成30年1号広報や当院ホームページにて、白内障硝子体手術装置・透析用監視装置の概略及び防衛省の交付金にて整備したことを掲載し周知した。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	質の高い医療を提供するため、今後も耐用年数を超えている医療機器の更新を行う。					
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（交通施設：弁天通り線）整備事業						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市下吉田地内						
補助事業の成果の目標	<p>当該路線のアスファルト舗装は経年劣化により、路面のひびわれ、損傷が多く見受けられる状況である。沿線の住民からも路面の損傷による振動、舗装骨材の飛散の影響があるとして工事の要望があることから早急に工事を実施する必要があると判断し、工事を実施するものである。当該路線の整備により、より良い地域の生活環境を確保するものである。</p>						
補助事業の内容	舗装 L=553.4m(28年度) L=678.5m(29年度)						
補助事業の始期及び終期	平成28年10月から平成30年1月まで						
事業費及び交付金額		28年度	29年度				計
		円	円				円
	事業費	20,721,960	34,706,880				55,428,840
	交付金額	18,600,000	30,000,000				48,600,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>市民への聞き取り調査を実施した結果、路面の損傷による地域への弊害が解消され車両の走行性、静粛性が向上したという意見があがった。本事業を実施したことで道路交通の充実が図れ快適な市民生活を確保することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事中の立て看板に交付金事業である旨を記載 ・ 市のHPに掲載 ・ 市の広報誌に掲載 ・ 回覧板にて工事情報を周知 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も住民に事業の内容を周知し、快適な市民生活を確保するために実施していきたい。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：西吉田配水場緊急遮断弁更新工事）整備事業						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市上吉田地内						
補助事業の成果の目標	今回、経年劣化により動作不良となっている西吉田配水場の緊急遮断弁を更新し、災害時に地域の生活用水の確保を確実なものにし、災害時の消防用水の確保や配水管破損による二次災害の防止も図る。						
補助事業の内容	緊急遮断弁更新工事 φ250 1基						
補助事業の始期及び終期	平成29年10月から平成30年3月まで						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	12,366,000	円				円
	交付金額	10,000,000					10,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>今回の工事によって、予備電源が備わり停電時にも作動し、また緊急遮断弁の開度の設定が可能になり、災害時においても地域の生活用水や消防用水の確保が確実に図れるようになった。</p> <p>立看板を設置し交付金事業であることを周知した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	緊急遮断弁が確実に動作するよう、定期的に試運転や保守点検を行い、災害時に機能が損なわれないものとする。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共施設（環境衛生施設：西吉田配水区配水管工事その2）整備事業（西原21号線外1路線）						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市新西原地内						
補助事業の成果の目標	今回、配水管工事を行う区間の水道管は昭和50年代に布設され、老朽化が著しい状況である。そのため既設の水道管は、地震等の災害時における被害を受けやすく、維持管理にも支障をきたす状況となっている。このため新たに耐震管であるGX形ダクタイル鋳鉄管を埋設し地域住民への水道水供給の安定化を行い、災害に強い安全で安心な水道水の安定供給を図る。						
補助事業の内容	配水管工事 DIP φ100mm L=215.4m						
補助事業の始期及び終期	平成29年12月から平成30年3月まで						
事業費及び交付金額		29年度					計
		円					円
	事業費	10,729,800					10,729,800
	交付金額	6,000,000					6,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>老朽化している既設配管を新規の耐震管に布設替してことにより耐震化が進捗し、沿線住民に対しより安心安全な水の供給ができ給水サービスの向上を図ることができた。</p> <p>今回整備したエリアで14件の給水管付替工事を行ったことで、有事の際の給水停止などの被害エリア縮小を見込めることができた。</p> <p>立て看板の設置によって交付金事業であることを周知した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（交通施設：中宿グランド線外1路線） 整備事業						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市上吉田地内						
補助事業の成果の目標	当該路線のアスファルト舗装は経年劣化により、路面のひびわれ、損傷が多く見受けられる状況である。沿線の住民からも路面の損傷による振動、舗装骨材の飛散の影響があるとして工事の要望があることから早急に工事を実施する必要があると判断し、工事を実施するものである。当該路線の整備により、より良い地域の生活環境を確保するものである。						
補助事業の内容	舗装 L=255.0m						
補助事業の始期及び終期	平成29年12月から平成30年3月まで						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	11,478,240	円				円
	交付金額	10,500,000					10,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>市民への聞き取り調査を実施した結果、路面の損傷による地域への弊害が解消され車両の走行性、静粛性が向上したという意見があがった。本事業を実施したことで道路交通の充実が図れ快適な市民生活を確保することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事中の立て看板に交付金事業である旨を記載 ・ 市のHPに掲載 ・ 市の広報誌に掲載 ・ 回覧板にて工事情報を周知 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も住民に事業の内容を周知し、快適な市民生活を確保するために実施していきたい。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						